

2 事業概要

(1) 総括事項

本年度は、給水戸数は微増、給水人口は微減となりました。また、料金収入となる年間有収水量は、前年度より減少しました。これは、少子高齢化やライフスタイルの変化、節水型製品の普及による影響があると考えられます。

経理については、地方公営企業会計基準の見直しに伴い、本年度より新会計基準を適用しています。事業収入では、料金収入や給水申込納付金が減少しましたが、新会計基準への移行により長期前受金戻入や過年度損益修正益を計上しました。事業支出では、減価償却費や動力費が増加しましたが、人件費等の削減に努め、事業収支については、純利益となりました。

施設改良費については、水道施設整備を推進するため、幸田配水場電気計装設備更新工事の前払金として43,400,000円を執行し、54,270,000円を翌年度に逡次繰越とし、幸田配水場機械設備更新工事の前払金として31,000,000円を執行し、39,010,000円を翌年度に逡次繰越とし、また、導・配水管の布設替工事等を実施しました。

(2) 業務の状況

本年度の年間給水量は7,696,689 m^3 で、前年度に比べ17,365 m^3 の減少となりました。

有収水量は7,292,703 m^3 で、前年度に比べ49,995 m^3 の減少となり、有収率につきましては、前年度に比べ0.44ポイント減の94.75%となりました。

また、北千葉広域水道企業団からの受水量は3,533,575 m^3 で、総給水量に占める割合は45.91%となりました。

事 項	平成26年度	平成25年度	前年度との差
給水戸数 (戸)	38,512	38,399	113
給水人口 (人)	78,398	78,430	△ 32
年間給水量 (m^3)	7,696,689	7,714,054	△ 17,365
1日最大給水量 (m^3)	24,176	24,752	△ 576
有収水量 (m^3)	7,292,703	7,342,698	△ 49,995
有 収 率 (%)	94.75	95.19	△ 0.44
北千葉広域水道企業団からの受水量(m^3) (給水量に占める割合%)	3,533,575 (45.91)	3,522,306 (45.66)	11,269 (0.25)

(3) 経理の状況

収益的収支については、事業収益1,986,287,819円に対し、事業費用が1,532,298,741円で差引き453,989,078円の純利益となりました。

収支の内訳は、事業収益では、営業収益1,316,131,312円、営業外収益313,541,250円、特別利益356,615,257円で、主なものとしては、給水収益1,198,954,238円、長期前受金戻入215,632,311円、過年度損益修正益356,615,257円などです。

事業費用では、営業費用1,396,997,580円、営業外費用92,776,577円で、主なものとしては、減価償却費536,460,878円、受水費328,686,250円、企業債支払利息88,167,989円などとなっています。

資本的収支については、収入額 31,164,452円に対し、支出額は、495,764,654円となり、収入額の主なものとしては、他会計負担金14,133,000円、工事負担金 10,336,562円、水源費負担金 6,393,600円です。また、支出額の主なものは施設改良費 330,365,253円、企業債償還金 160,202,627円などとなっています。

収入額が支出額に不足する額 464,600,202円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 15,335,882円、過年度分損益勘定留保資金 449,264,320円で補てんしました。

(単位：円)

		平成26年度	平成25年度
収益的収支	事業収益	1,986,287,819	1,482,084,904
	事業費用	1,532,298,741	1,527,887,933
	純利益	453,989,078	△ 45,803,029
資本的収支	収入	31,164,452	207,175,490
	支出	495,764,654	626,664,363
	不足額	464,600,202	419,488,873

(4) 老朽管更新事業

【事業の目的】

- 耐震性の向上を図り、給水を安定させる。
- 漏水を防止し、維持管理費の節減を図る。
- 安全で良質な水を供給する。

【事業の経緯と現況】

厚生労働省の水道管路近代化事業の施策の基に、目標年度を平成25年度とする石綿管更新事業が平成2年度から全国的に実施されることになりました。本市水道事業における石綿管更新事業については、計画通り平成25年度に完了しました。

本事業は、石綿管更新事業の事業目的を引き継ぎ、計画的に水道部単独の布設替工事を実施すると同時に他事業の水道管移設や切廻し依頼による布設替工事も実施するものです。平成26年度においては、1749.44mの布設替工事を実施しました。